

資料 3

乗合タクシーの実証 運行の改善について

第9回堺市地域公共交通会議資料より

平成27年2～3月 沿線アンケート



平成27年4月 改善点を反映



利用状況の把握

アンケート結果の整理、事業者へのヒアリング、その他の意見、要望等の整理

本格運行に向けた運行内容の検討

- ・運行ルート、停留所、運行日、ダイヤ、予約方法等の運行内容



平成27年冬頃 本格運行の事業者選定



乗合事業の認可申請・取得

停留所設置等の準備

本格運行の内容の周知

平成28年度 本格運行開始



平成27年夏頃 地域公共交通会議で案を検討

平成27年秋頃 地域公共交通会議で合意

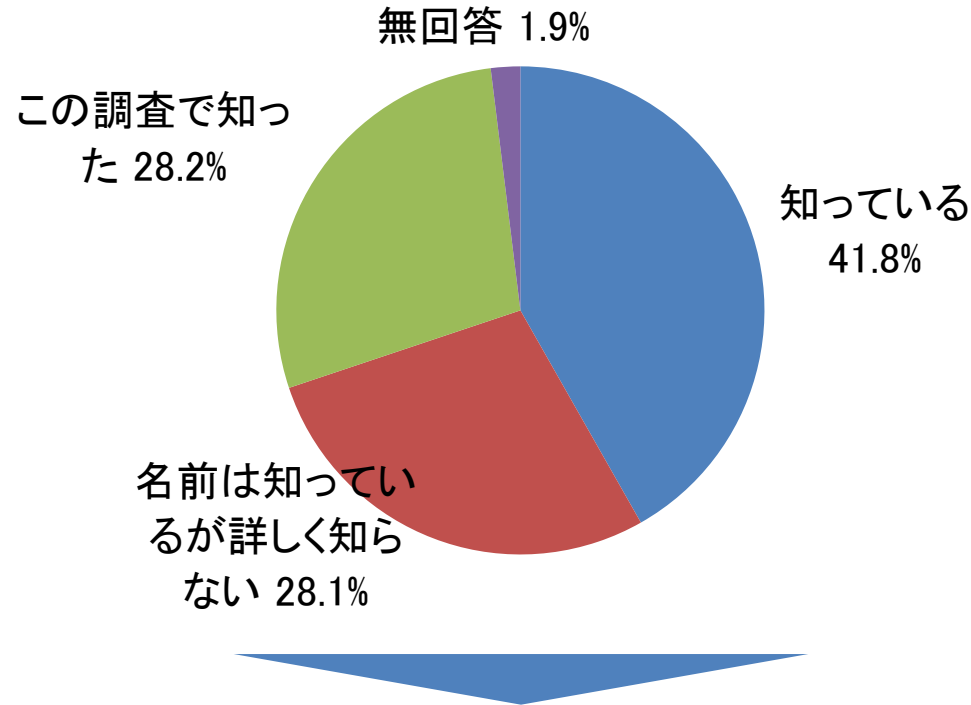
■乗合タクシーの沿線アンケートについて

(1)概要

- 利用状況の分析や、利用者の意見等の把握とあわせて、利用が少ない地域の意見等も把握し、本格運行に向けた運行内容の見直しの検討材料とするために実施
- 調査期間：平成27年2月16日から20日まで配布し、3月20日まで回収
- 調査方法：停留所沿線へ無作為にポスティングし、郵送回収
- 配布・回収数：配布 8,000部、回収 2,518部（回収率31.5%）
- 回答者性別：男性 36.5%、女性 62.7%、無回答 0.8%
 - 年齢：18歳未満 0%、18～59歳 38.1%、60～64歳 12.7%、65～69歳 17.2%、70歳以上 31.3%、無回答 0.7%
 - 自動車保有率：18～59歳 80.9%、60～64歳 73.1%、65～69歳 66.9%、70歳以上 44.0%

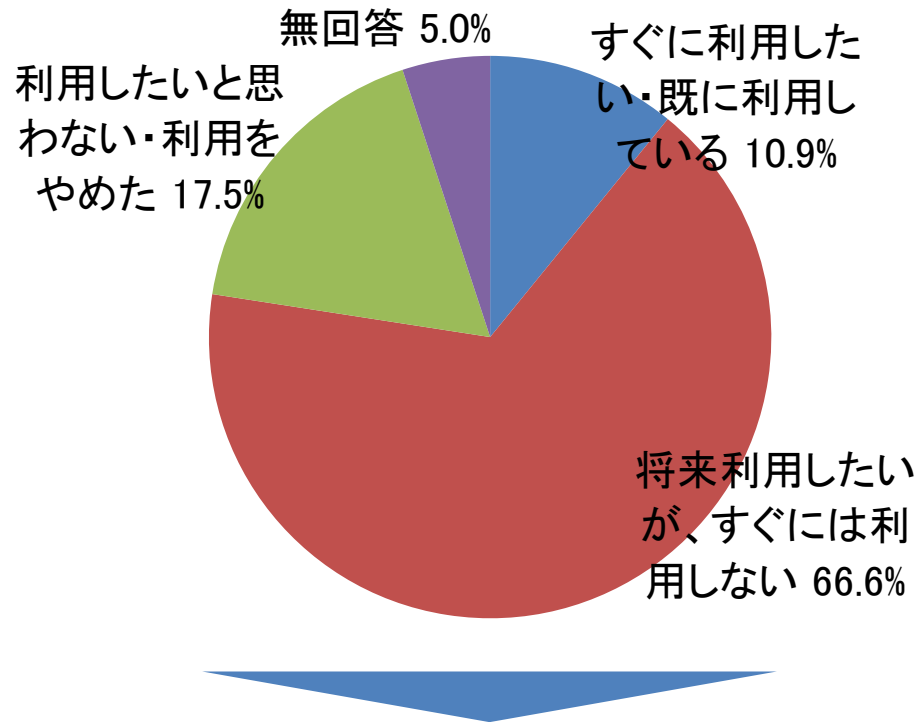
(2) 調査結果

堺市乗合タクシーの認知度



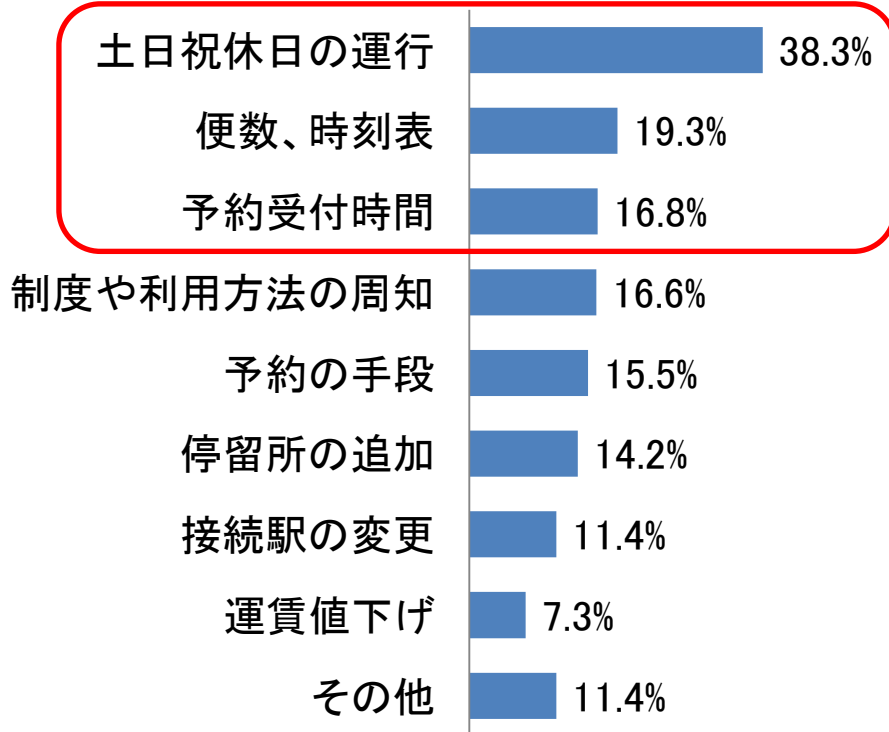
約56%が「名前を知っているが詳しく知らない」、「この調査まで知らなかった」と回答しているが、アンケート配布後のH27.3の利用者が前月と比較して1日当たり20.8人/日→22.9人/日と約1割増加しており、一定の周知効果があったと考えられる。

堺市乗合タクシーの利用状況

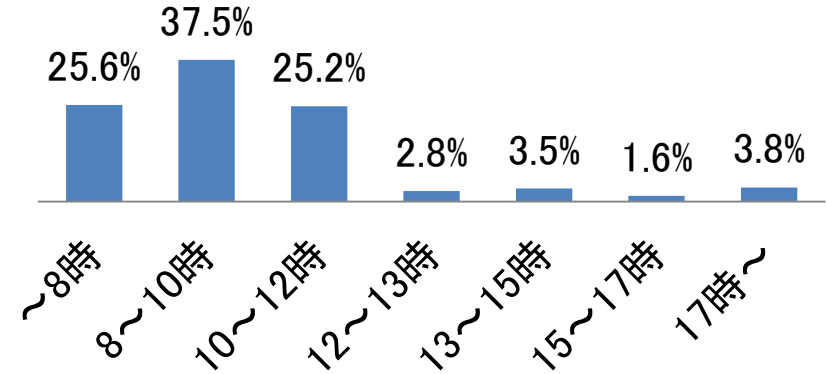


「すぐに利用したい・既に利用している」と回答した人は10.9%であるが、「将来は利用したいが、すぐには利用しない」との回答とあわせると、約77%が事業の必要性に理解を示しており、潜在的な需要も高いと考えられる。

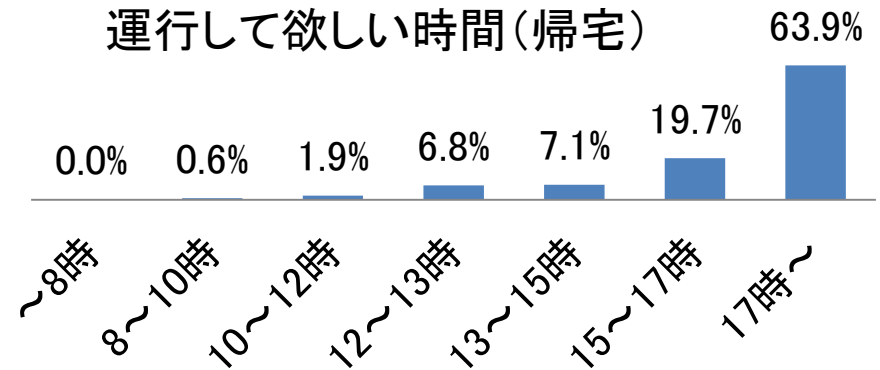
改善されたらよいと思う点



運行して欲しい時間(出発)



運行して欲しい時間(帰宅)



- 「土日祝休日の運行」、「増便や時刻表改正」、「予約受付時間」の改善要望が多い。

停留所を追加して欲しい場所

場所	回答数
病院	43
学校・幼稚園等	16
区役所	11
スーパー	7
複合商業施設	6
美原総合福祉会館	4
美原B&G海洋センター	3
その他施設・目印等	15
既存の路線バス停	12
自宅周辺や目的地等の住所・目印等	93

接続して欲しい鉄道駅

駅名	回答数
中百舌鳥駅	103
北野田駅	52
泉ヶ丘駅	37
光明池駅	19
堺東駅	18
鳳駅	14
津久野駅	13
初芝駅	12
上野芝駅	12
北花田駅	11
その他市内駅	41
市外駅	75

- ・ 停留所を追加して欲しい場所は、自宅周辺住所や特定の施設など様々。
(例: 住所では中区陶器北、福田など、施設では大阪労災病院など)
- ・ 接続して欲しい鉄道駅は、中百舌鳥駅、北野田駅、泉ヶ丘駅が多い。

停留所や接続駅に関する要望については、利用状況等とあわせて、本格運行に向けたルート再編の検討材料とする。

■実証運行の改善について

- 第9回会議の審議を踏まえ、平成27年4月より運行内容を以下のとおり改善
 - ①運行便のない12時台に増便
 - ②予約受付の締切り時間を3時間前までから2時間前までに改善
 - ③鉄道駅の実質的な利用圏外である東区草尾及び西野に停留所を追加

乗合タクシーの利用状況について

9

■ 利用者数(期間:平成26年3月10日～平成27年5月31日)

(単位:人)

ルート	H25	H26年度												H27年度		合計	1台 平均
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
Aルート	73	75	74	73	86	72	124	106	86	90	82	78	97	109	132	1,357	1.5
Bルート	24	56	49	66	54	34	61	55	43	65	78	54	79	96	97	911	1.4
Cルート	54	67	94	147	130	143	137	105	116	100	108	140	143	147	123	1,754	1.5
Dルート	9	18	31	43	24	33	42	17	11	13	8	15	25	37	24	350	1.1
Eルート	22	38	32	54	32	37	31	42	26	47	42	45	65	71	63	647	1.3
Fルート	28	29	17	17	39	27	25	30	28	28	20	25	31	50	42	436	1.3
Gルート	7	9	8	13	12	2	9	2	6	2	4	9	11	30	25	149	1.1
Hルート	36	39	32	46	58	36	32	35	39	43	21	17	38	80	37	589	1.2
Iルート	11	10	17	17	21	19	15	15	13	7	7	13	14	11	11	201	1.1
合計	264	341	354	476	456	403	476	407	368	395	370	396	503	631	554	6,394	1.4
1日平均	17.6	16.2	17.7	22.7	20.7	19.2	23.8	18.5	20.4	18.0	19.5	20.8	22.9	30.0	30.8	21.2	
	19.9												30.4				

- 1日平均利用者数は、増便や予約受付時間の改善等を実施した平成27年4月以降、それまでの19.9人/日から、30.4人/日と約1.53倍に増加

■ 便別の利用者数(1ヶ月当たり)

便	運行改善前(H26.3～H27.3)		運行改善後(H27.4～5)	
	利用者数(人)	割合	利用者数(人)	割合
第1便	132	33.1%	197	32.5%
第2便	116	29.3%	121	19.8%
第3便(追加便)	—	—	91	14.9%
第4便	63	15.8%	86	14.1%
第5便	87	21.8%	113	18.6%
合計	398		608	

- 各便とも利用者が増加しており、追加便も一定の利用がある

■ 利用者種別毎の利用者数(H26.3～H27.5)

利用者種別	おでかけ 応援	大人	小人	未就学児童		障害者		合計
				有料	無料	大人	小人	
利用者数(人)	5,393	732	44	5	112	108	0	6,394
割合	84.3%	11.4%	0.7%	0.1%	1.8%	1.7%	0.0%	

- 高齢者(65歳以上の堺市民)の利用が8割以上

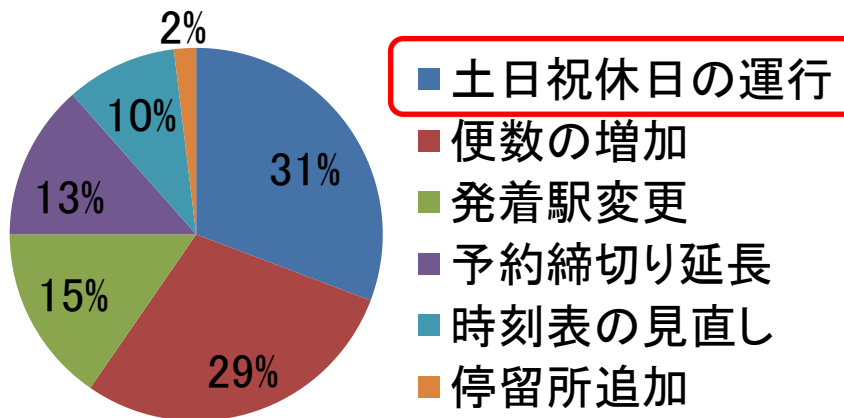
■ おでかけ応援制度とは

- ・ 満65歳以上の堺市民が「おでかけ応援カード」を使うことで市内の南海バス、近鉄バス、阪堺電車を1乗車100円で利用できる制度。
 - ・ 高齢者の社会参加や公共交通の利用促進を目的に実施。
- ☆ 堺市乗合タクシー制度でも「おでかけ応援カード」の提示で運賃が100円。

■ おでかけ応援制度の経過

平成16年度	5の付く日に南海バスで利用開始
平成18年度	利用日を5と0の付く日に拡充
平成19年度	近鉄バスで利用開始
平成22年度	阪堺電車で利用開始
平成25年7月	利用日を月～金曜日（祝休日・年始を除く）に拡充
平成27年11月	利用日を全ての曜日に拡充（予定）

- 沿線アンケートにおいて「土日祝休日の運行」の改善要望が最も多い。
- 利用者アンケート結果より
(改善して欲しい点)



- 乗合タクシーの利用者の8割以上が65歳以上の高齢者。
- おでかけ応援制度の利用対象日が、平成27年11月から全ての曜日に拡充し、市内路線バス等が土日祝日及び年始も1乗車100円で利用可能に。

堺市乗合タクシーについても、平成27年11月から土日祝休日及び年始を含めた全日に運行

■運行改善に向けたスケジュール(予定)

全日運行について地域公共交通会議で合意

- 
- 乗合事業の届出(事業計画の変更)
 - 全日運行開始の周知



平成27年11月 全日運行開始

乗合タクシーの本格 運行について

■利用状況やアンケート等から考えられる乗合タクシーの位置付け

- 乗合タクシーは公共交通空白地域のアクセスを確保することを目的としており、予約がなければ運行しないデマンド方式で経費を抑え、効率的に運行している。
- H27.4の運行改善後は、利用者数が約1.5倍に増加しており、沿線アンケート調査結果から潜在的な需要も高いと考えられる。



■本格運行に向けたルート再編の方向性

- 実証運行において利用が少ない停留所であっても、原則として廃止しない。
- 公共交通空白地域内で要望のある箇所は、周辺状況や必要性等を踏まえて、停留所の新設を検討する。
- 公共交通空白地域でない箇所は、停留所を新設しない（鉄道駅・バスターミナルを除く）。
- 実証運行の利用状況や住民の意向等を踏まえて、効率的なルート設定となるよう、接続駅の変更やルートの分割・統合を検討する。

- 要望や必要性等を踏まえて、下記の7箇所に停留所の新設を検討する。

住所	最寄り駅又はバス停	最寄りの乗合タクシー 実証運行ルート
北区常磐町	地下鉄「北花田駅」 (約850m)	Aルート
東区八下町	南海バス「出屋敷」 (約350m)	Aルート
東区草尾	南海バス「伊勢道」 (約350m)	Cルート
中区陶器北	南海バス「上之」 (約700m)	C、Eルート
美原区丹上	南海・近鉄バス「丹上」 (約400m)	A、Bルート
美原区太井	南海バス「太井南」 (約400m)	Bルート
美原区南余部西	南海バス「南余部」 (約400m)	Bルート

本格運行ルート再編(案)について

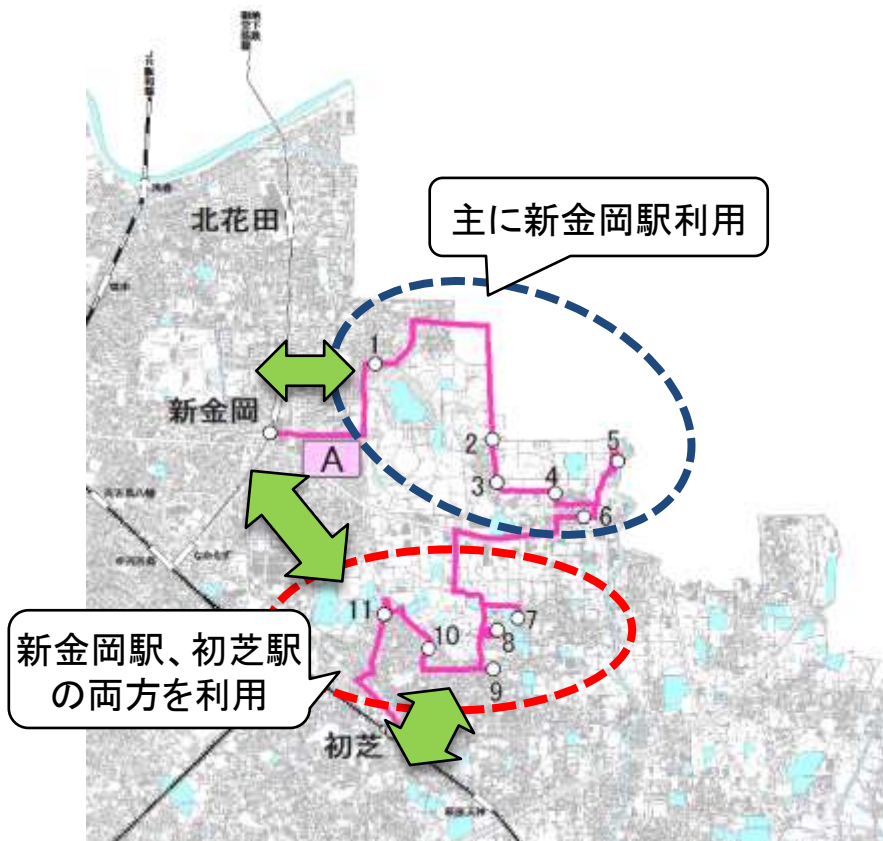
17

■ ルート再編案

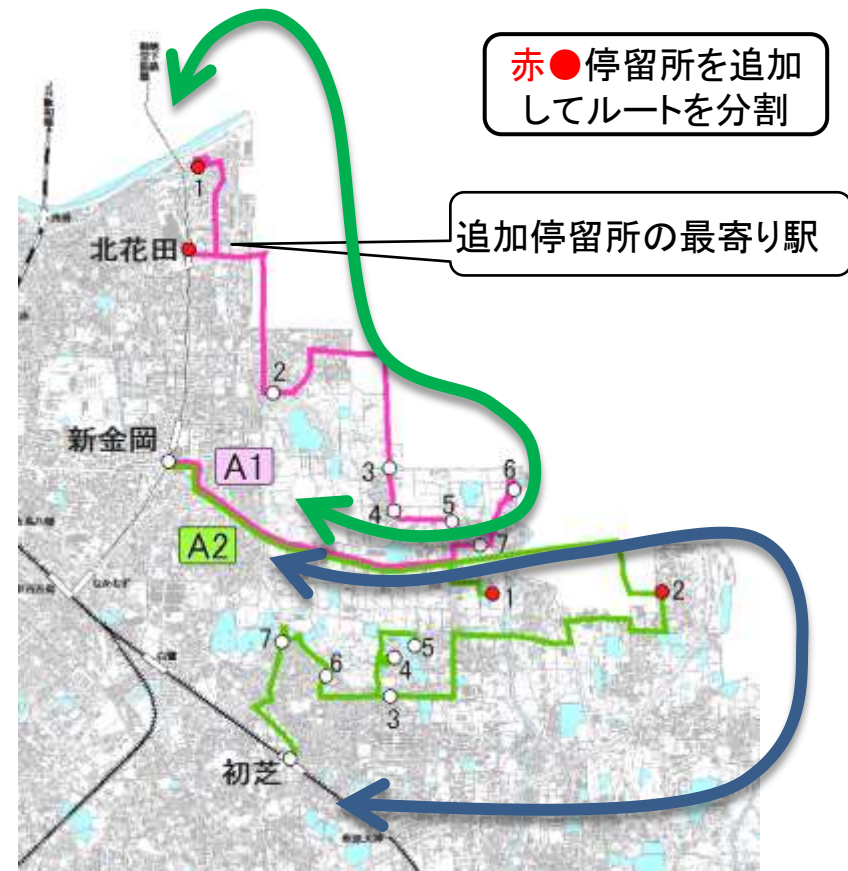
実証運行ルート			ルート再編内容	本格ルート(案)				
名称	経路	停留所数		名称	経路	停留所数	新設数	接続駅変更
A	新金岡駅～北・東区～初芝駅	11	停留所新設 ルート分割	A1	北花田駅～北区～新金岡駅	7	1	有
				A2	新金岡駅～東・美原区～初芝駅	7	2	
B	北野田駅～美原区循環	12	停留所新設	B'	北野田駅～美原区循環	14	2	
C	深井駅～中・東区～北野田駅	11	停留所新設 ルート分割・統合	C'	深井駅～中・東区～北野田駅	7	1	
E	深井駅～中区～泉ヶ丘駅	6		E'	北野田駅～東・中区～泉ヶ丘駅	9	1	有
F	深井駅～中区～泉ヶ丘駅	6		F'	深井駅～中区～泉ヶ丘駅	9		
D	津久野駅～西・中区～深井駅	8	変更なし	D	津久野駅～西・中区～深井駅	8		
G	鳳駅～西・南区～拇・美木多駅	6	ルート分割・統合	G'	鳳駅～西区～拇・美木多駅	6		
H	鳳駅～西・南区～拇・美木多駅	5		H'	泉ヶ丘駅～南区～拇・美木多駅	8		有
I	泉ヶ丘駅～逆瀬川	3						
9ルート合計		68		9ルート合計		75	7	

■Aルート

実証運行ルート



本格運行ルート素案



- Aルートは、3停留所を追加し、2ルートに分割

- ① A1ルート: 北花田駅から北区常磐町とA1～6停留所を経由して新金岡駅へ接続
- ② A2ルート: 新金岡駅からA7～11と東区八下町、美原区丹上を経由して初芝駅へ接続

■Bルート

実証運行ルート



本格運行ルート素案

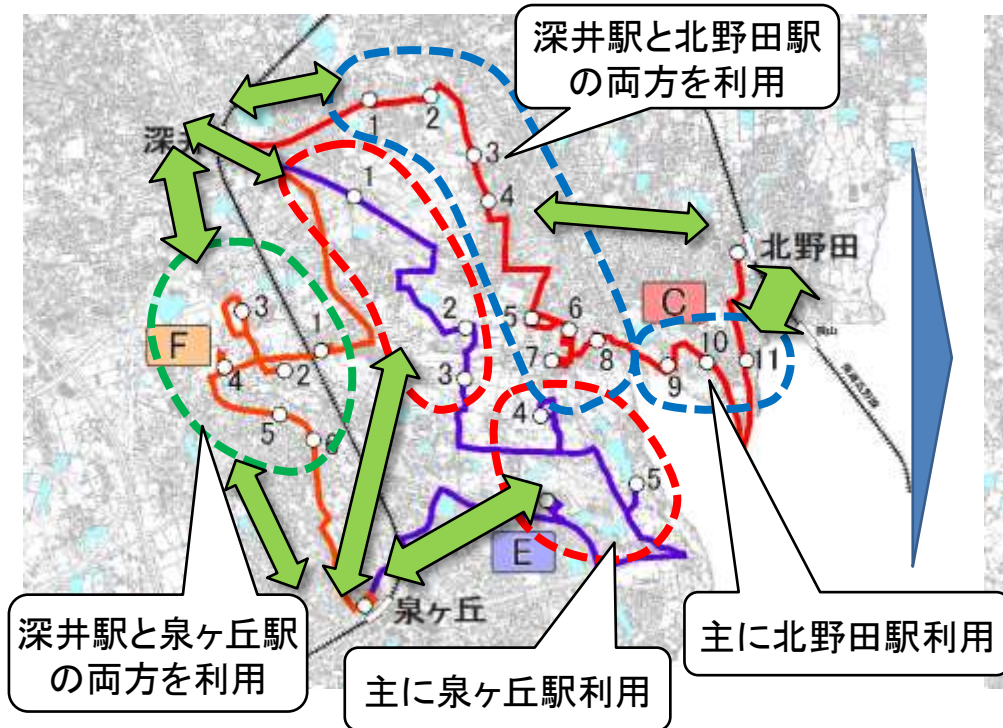


- Bルートは、2停留所を追加

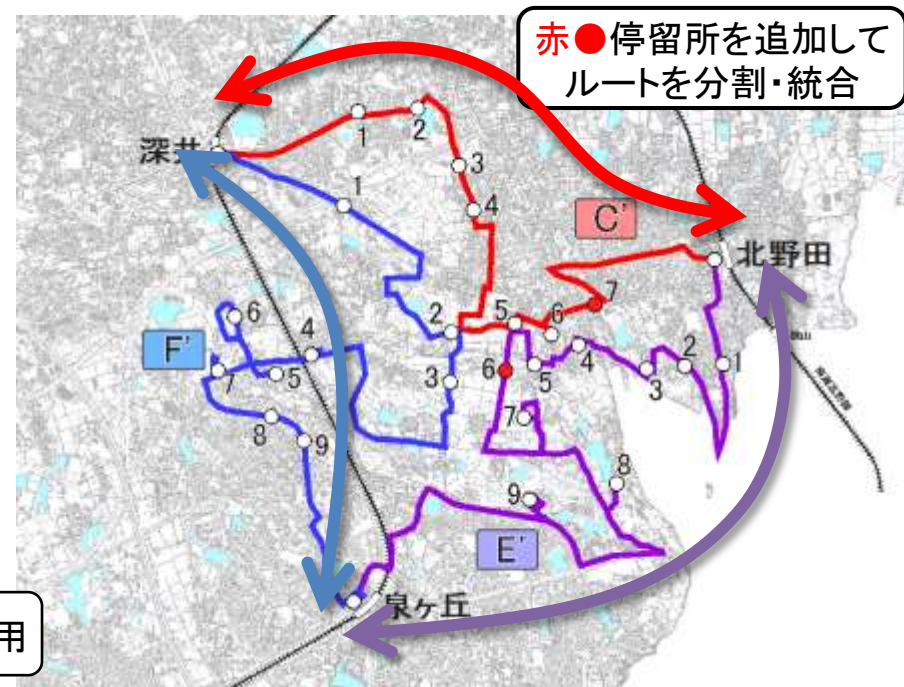
① B' ルート: 基本ルート、接続駅は変更せず、美原区太井、南余部西に停留所を追加

■C, E, Fルート

実証運行ルート



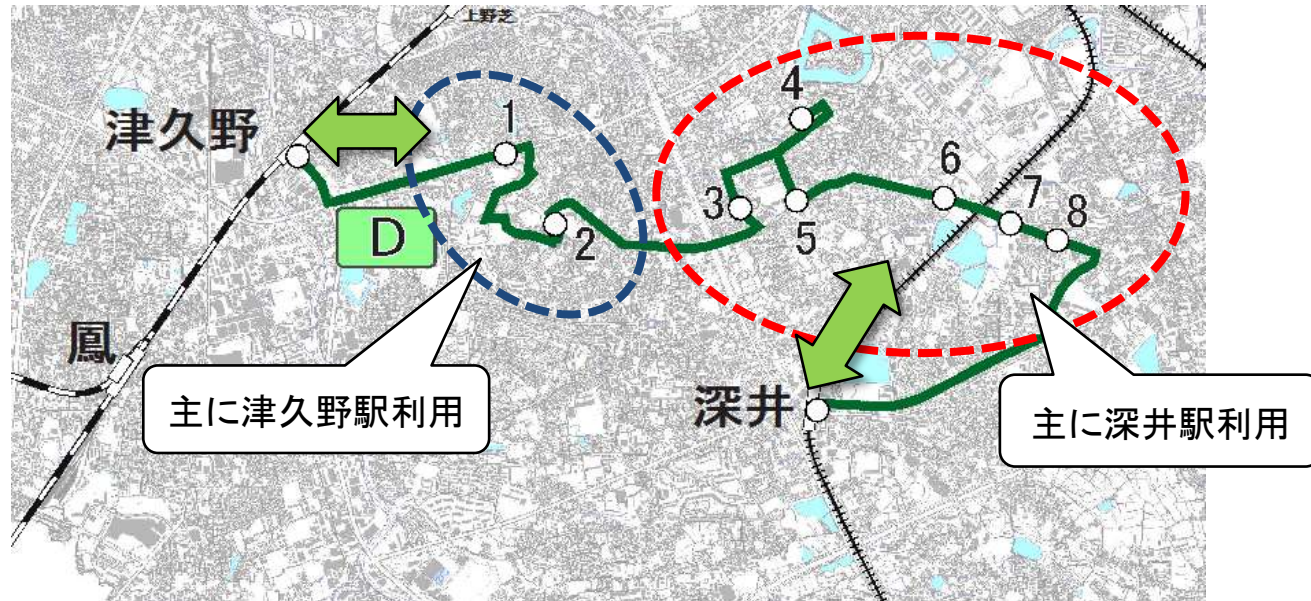
本格運行ルート素案



- C, E, Fルートは、2停留所を追加し、分割・統合して3ルートに再編
- ① C' ルート: 深井駅からC1~6と東区草尾を經由して北野田駅に接続
- ② E' ルート: 北野田駅からC7~11と中区陶器北、E4~6を經由して泉ヶ丘駅に接続
- ③ F' ルート: 深井駅からE1~3とF1~6を經由して泉ヶ丘駅に接続

■Dルート

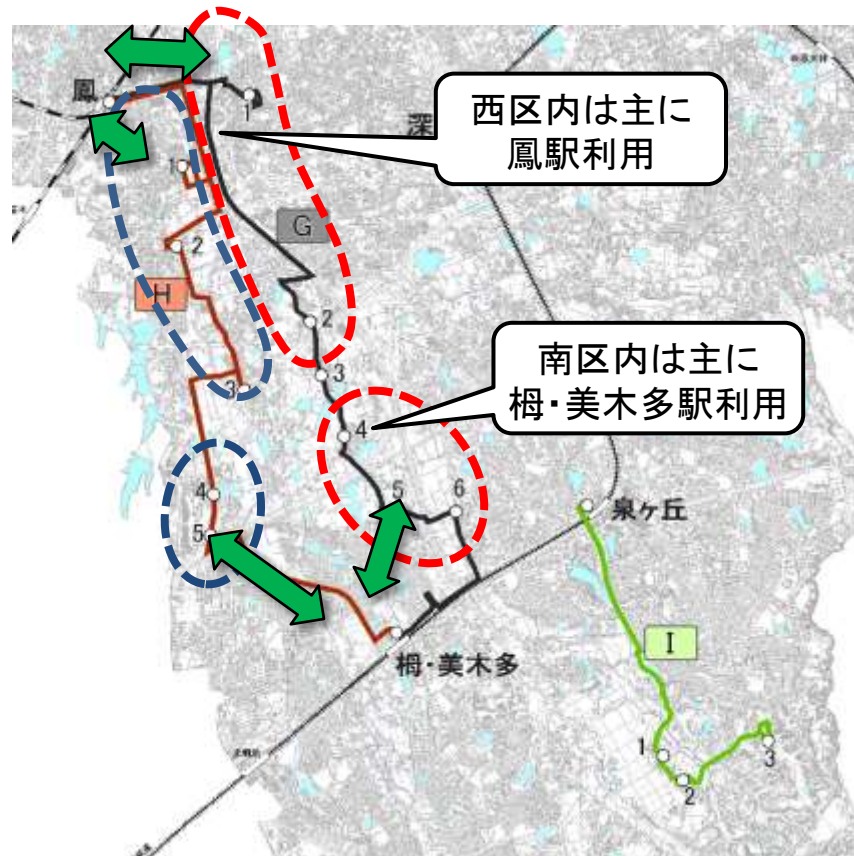
実証運行ルート



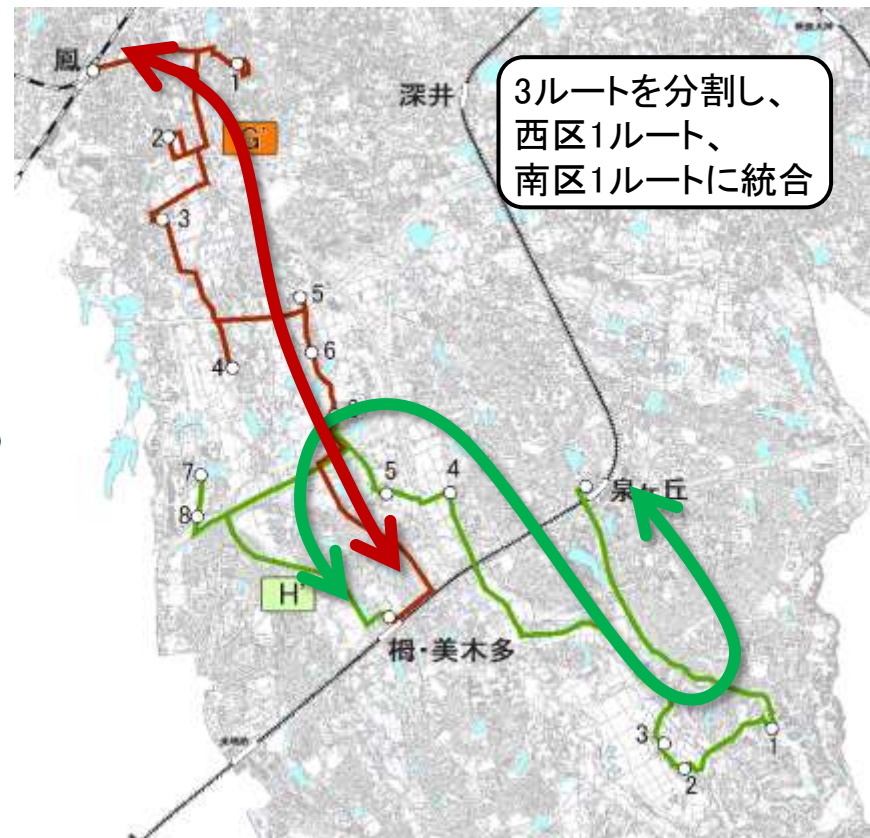
- Dルートは、ルート変更なし
 - ✓ D3～8周辺から中百舌鳥駅への接続要望が多いが、最寄りの深井駅へも需要があることや、D1, 2から津久野駅への利用が多いことから、接続駅は変更しない
 - ✓ 現在の利用状況や停留所数からルートの分割も非効率

■G, H, Iルート

実証運行ルート



本格運行ルート素案



- G, H, Iルートは、分割・統合して2ルートに再編

① G' ルート: 鳳駅からG1~3、H1~3を經由して柵・美木多駅へ接続

② H' ルート: 泉ヶ丘駅からI1~3、G4~6、H4, 5を經由して柵・美木多駅へ接続

■ルート再編案のまとめ

- 公共交通空白地域内の7箇所、停留所の新設を検討
- 利用状況や地域の意見等を踏まえたルートの分割・統合や接続駅の変更を検討



今後、沿線自治会等と協議してルートや停留所位置等を調整

■本格運行に向けたスケジュール(予定)

本格運行ルート案について地域公共交通会議で検討



関係機関及び沿線自治会等との協議



地域の意見を反映させた
本格運行内容を策定



平成27年秋頃 地域公共交通会議で合意



平成27年冬頃 本格運行の事業者選定



乗合事業の認可申請・取得
停留所設置等の準備
本格運行の内容の周知

平成28年度 本格運行開始